

介護助手導入支援

取組の背景/狙い

● 背景

周辺業務の担い手となる「介護助手」の導入について、県内介護関係団体の協力のもと実施したモデル事業を通して、介護助手として働きたい方の需要があることや、介護職員の負担軽減効果について一定の実証が得られた。

一方で、「介護助手を受け入れる準備や受け入れ後の指導をするだけの余裕がない」「人件費など経営を考えると、介護助手よりもまず介護職員を雇いたい」と介護助手の導入を敬遠する事業所は多く、介護助手として働きたい方の需要に比べて、求人が少ないという現状がある。

● 狙い

人手不足にあえぐ事業所では、介護職員の確保を人材紹介会社に頼っているが、高額な紹介手数料がかかり、経営を圧迫している。それにより賃上げや業務改善がままならず、離職を招き、更に経営が圧迫されるという悪循環が大きな問題となっている。

介護助手の導入により、介護職員の負担を軽減し、離職を抑えることにつながれば、業務にも経営にも余裕が生まれ、業務改善に取り組む基盤ができると期待される。

取組の概要

● 概要

介護助手導入のハードルになる、事業所の課題の確認や業務の切り出し、雇用面等の準備、及び受け入れ体制を整えるための業務改善を含めた伴走支援を行う。

また、事業所が独自に介護助手を導入できるよう、その準備、体制を整備する手順や方法、導入事例等をまとめた実務担当者向けのマニュアルを作成し、今後の普及に活かす。

取組の詳細

● 事業説明会

普及セミナーと併せて事業内容を説明し、伴走支援を受けたい事業所を募集。

令和5年10月18日（水） 大崎会場
令和5年10月20日（金） 気仙沼会場
令和5年10月27日（金） 白石会場

● 伴走支援

5事業所を対象に、専門家による伴走支援を実施。毎月の訪問支援のほか、電話やメールにより随時サポート。

● マニュアル作成

導入の流れに沿った手順や方法をまとめたマニュアルを作成。伴走支援を行った中から2事業所（デイサービス、介護老人保健施設）の事例を紹介。

マニュアルは令和6年3月に県HPに掲載予定。
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/chouju/kaigojo_shu.html